

絆

西島しんやの政治信条

で守り育むまちづくり。

きずな

西島しんや

にし じま

●安全・安心を基本に、暮らしやすい

市民に優しい住民目線のまちづくりを優先します。

●重い負担となる過剰な投資・税金の無駄づかいはせず、
福祉・医療・介護・市民サービスの
充実を図ります。

たとえば



- 中学生迄の通院、入院、医療費を全額補助します。
- 一人暮らしの高齢者支援体制を強化します。
- 妊産婦への出産にかかる費用の補助は継続します。
- 高齢者への市営温泉施設使用無料券配布を実現します。
- 高すぎる水道料金の値下げをめざします。
- 指定ごみ袋は無料化、あるいは値下げを検討します。

そのほか、皆様のご意見を基に、真に必要な福祉、サービスを行います。

小学校・中学校・幼稚園・保育園の 統廃合は原則行いません。

小中学校や幼稚園・保育園が無くなると
若者は流出し、地域は衰退します。

市民が主役の、公平・公正なまちづくりを目指します。
どうぞ、温かなご支援をお願いいたします。

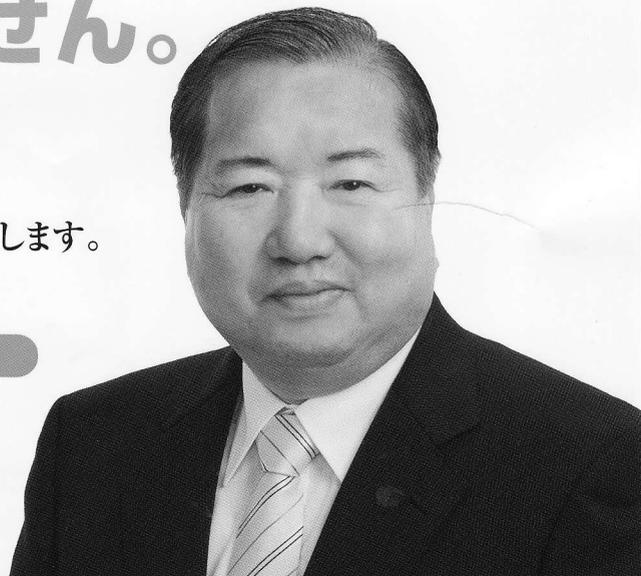
ご連絡・ご意見・お問い合わせ

西島しんや 後援会事務所

〒410-2416 伊豆市修善寺1040 TEL.0558-72-0556

EX-メール nishizima415@docomo.ne.jp TEL.0558-72-4384

FAX兼用





市民が主役の、公平・公正なまちづくりを目指します。
どうぞ、温かなご支援をお願いいたします。



西島しんや

プロフィール

- 昭和22年 修善寺町修善寺に生まれる
- 昭和37年 修善寺中学校卒業
- 昭和40年 葦山高等学校卒業
- 昭和44年 青山学院大学法学部卒業
- 昭和50年 修善寺町役場入庁
- 平成19年 伊豆市役所定年退職(在職32年)
- 平成19年 囲碁サロン「秀和」開業
- 平成19年 学校支援グループ キャロットクラブ会員
- 平成20年 伊豆市議会議員補選当選、現在2期目
- 平成22年 静岡県東部自衛隊父兄会会長

ご連絡・ご意見・お問い合わせ

西島しんや 後援会事務所

〒410-2416 伊豆市修善寺1040

TEL.0558-72-0556

TEL.0558-72-4384 FAX 兼用

EX-URL nishizima415@docomo.ne.jp

みんなの
絆きずなで育む
市民が主役、
まちづくり。



西島しんや

にし じま

小学校・中学校の統廃合は原則として行いません。

地域力を発揮し、みんなで育むまちづくり。

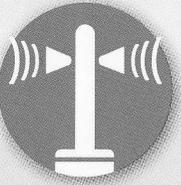


1. 地域を守るまちづくり

- 教育施設の(小学校・中学校・幼稚園・保育園)の統廃合は、原則行いません。
- 若者向け市営住宅を建設するとともに、若者定住化を促進し、地域力を守ります。
- 天城北道路の早期完成にまい進するとともに、ライフラインの整備を進めます。
- 矢熊・筏場線の安全走行が保てる整備を行います。

2. 災害に強いまちづくり

- 災害弱者である児童、高齢者、障がい者の安全と命を地域とともに守ります。
- 役所内に地域安全課を新設します。
 - ・大震災・大津波(土肥地区)に備え、避難誘導路、避難地を整備します。
 - ・かけ崩れ等危険箇所を総点検し、国・県と一体となり、防災工事を積極的に進めます。
 - ・地区要望を切り捨てず、住民の声として受け止め、積極的にその実現化に努めます。
 - ・災害に対応した専門職を育成し、支所へ配置することにより、地域の防災機能の向上を図ります。



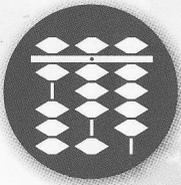
3. 暮らしやすいまちづくり

- 高すぎる伊豆市の水道料金は、値下げを検討します。
- ゴミ袋料金は無料化あるいは値下げの方向で検討します。
- 平成の目安箱を設置します。
(市民のご意見を広く吸い上げる仕組みをつくります。)



4. 無駄を省き、健全財政のまちづくり

- 事業の費用と効果を十分に考え、お金を使います。
- 行政事務費用や公共施設にかかる費用を徹底的に見直します。



5. 福祉・医療・介護の充実したまちづくり

- 一人暮らしの高齢者支援体制を強化します。
(呼びかけ隊・見守り隊を結成します。)
- 中学生までの通院、入院、医療費を全額補助します。
- 妊産婦の出産にかかる費用の補助は、継続します。
- 高齢者への市営温泉施設使用無料券配布を実現します。



6. 観光客が集まるまちづくり

- 国内、海外から多くの人々が訪れてくれるような、魅力ある観光施設の整備を行います。
- 伊豆市らしい自然景観を生かした観光拠点づくりを進めます。



7. 伝統・文化・芸術を守り、育てていくまちづくり

- 市の既存施設を生かして、市所蔵の美術品や市民の作品を展示する場を設け、文化・芸術・芸能活動を積極的に支援します。



8. 農林業を育成するまちづくり

- 遊休農地を活用し、新規就農者への支援に取り組みます。
- 荒廃した山林を生き返らせ、治山治水を図ります。
- 有害鳥獣対策は、官民一体で取り組み、助成金制度も効果的なものに見直します。
- 地場産品(わさび・しいたけ等)を積極的にアピールし、官民一体となり、販路拡大に努めます。



9. スポーツ振興で明るいまちづくり

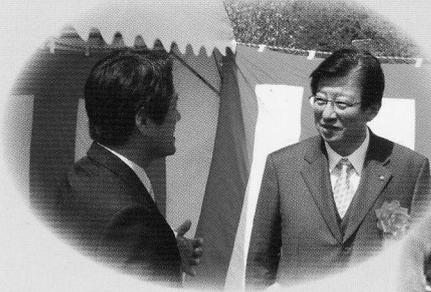
- 本年度は、オリンピックイヤーです。サイクルスポーツセンター・ベロドロームを起点に官民一体でスポーツ振興を進めます。
- 天城ドームなど、市内各所のスポーツ施設を活用し、市民の健康づくりを推進するとともに、各種スポーツ団体を招致し、子供たちとの交流を図ります。



10. 職員の能力をいかし、充実した住民サービスのまちづくり

- 職員の仕事への意欲を高め、その能力を十分に発揮できる職場づくりを目指します。

菊地ゆたか 市政の4年間



◀伊豆シカ問屋
(食肉加工センター)
開設式にて
川勝県知事と



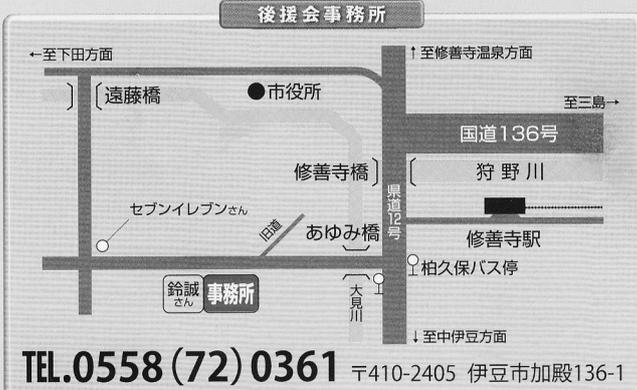
▲有害鳥獣被害視察にて
鹿野農水大臣と



◀台湾総統府にて
蕭副総統と会談

菊地ゆたかの歩み

昭和33年	伊豆市本柿木生まれ	平成4年	総合商社研修
昭和46年	狩野小学校卒	平成5年	国連モザンビーク 平和維持活動
昭和49年	天城中学校卒	平成12年	在ドイツ日本国大使館
昭和52年	韮山高校卒	平成15年	第5普通科連隊長
昭和56年	防衛大学校卒	平成17年	内閣官房
昭和56年	防衛庁入庁 (陸上自衛隊)	平成19年	防衛省退職
		現在	伊豆市長



□子育て支援

- ・小中学生の2km以上通学費を全額公費に。
- ・妊娠22週日のお母さんに4万円の出産準備手当を創設。
- ・限度額10万円の不妊治療費助成を創設。
- ・子ども医療費助成を小学校6年生までに。

□人口減少対策

- ・若者定住促進のための住宅補助金で新築19軒、移住57人(23年度11月現在)

□有害鳥獣対策

- ・鹿野農水大臣に伊豆市内の視察を要請し実現、有害鳥獣対策を強化するとの力強い支援をいただきました。
- ・有害鳥獣対策の一環として県下で最初の伊豆シカ問屋(食肉加工センター)を開設しました。

□陳情要望活動

- ・道路整備、河川改修及び砂防工事促進に関し、財務省に3回、国土交通省に15回要望活動をおこないました。

□教育環境整備

- ・中伊豆中、天城中の耐震工事をはじめ、土肥小の改装、修善寺南小の体育館新設、中伊豆小の改修で子ども達は「トイレがホテルみたいになった!」と大喜び。
- ・幼保一元化を進め、土肥こども園・さくらこども園(中伊豆)を新設し、こども園「あゆの里(修善寺)は民営で運営されます。

□地域医療の確保

- ・伊豆赤十字病院に運営補助として1億9千万円を(21~23年)助成。
- ・中伊豆温泉病院に医療器材整備補助として4千万円を(22~23年)助成。

□放射能対策

- ・放射性セシウムが検出された伊豆市産の干し椎茸問題で、すばやい対応を県や国の関連機関に疾風迅雷!出荷自粛の解除をめざしました。

□災害復旧

- ・台風15号の復旧費用に2億6千万円の補正予算を計上し、林道や農地の復旧に着手しました。

□企業誘致

- ・天城支所跡地に「東京ラスク伊豆ファクトリー」を誘致しました。
- ・八幡グラウンドに「おうちコープ伊豆センター」を誘致しました。

□合併時からの課題

- ・上下水道料金の格差をなくすために、5年後には市内統一料金になるよう市民の不公平感に理解を得ることができました。
- ・伊豆市の玄関口修善寺駅周辺整備に着手、平成26年夏の完成をめざします。
- ・大平アクセス道路(旭橋)が完成しました。
- ・八木沢、小下田地区の水道整備事業の整備に着手しました。

前進



菊地ゆたか

53才

後援会のしおり 討議資料

伊豆の夢を『ホップ』から『ステツプ』へ!

1 成長戦略

- (1) ひきつづき、伊豆の道路網整備に邁進します。
- (2) 伊豆市にみあった企業誘致をはかり、雇用の場確保に全力で頑張ります。
- (3) 農林水産業を6次産業としてビジネス化し、収益増加をはかります。
- (4) 自然・歴史・文化を生かしたまちづくり、景観条例の制定も目指します。
- (5) 伊豆市の玄関口修善寺駅周辺整備を継続します。

2 定住促進

- (1) 修善寺地区・中伊豆地区のベッタタウン化を進めます。
- (2) 子育て世帯の定住助成を継続して、人口増加をはかります。

幸福度 UP

気宇軒昂

熟慮断行

ストップ・ザ・人口減少
ムダを省く『行政改革』!!



元気なまちづくり!

安全・安心なまちづくり!

人いっぱいなまちづくり!

経世済民

3 安全・安心の確保

- (1) 災害に強いまちづくりを推進します
 - ・土肥屋形海岸の防潮堤建設。土肥こども園及び八木沢地区に津波避難塔の設置。
 - ・災害時の情報発信のため、コミュニティFMラジオの開局。
 - ・急傾斜地・土石流対策は継続していきます。
- (2) 医療福祉の充実をはかります
 - ・ひきつづき地域医療体制の維持・充実に努めます。
 - ・新たな特別養護老人ホーム（天城地区）の建設をめざします。
 - ・障がい者のグループホーム及び就労施設の設備を充実します。

勇往邁進



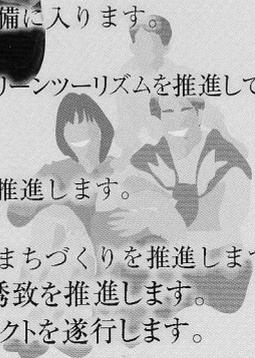
4 人材育成

- (1) 市民が相互に交流できる環境を整備します。
- (2) 意欲ある青年世代の起業を支援します。
- (3) 市職員のみならず、市民のまちづくりに対する意識を高めます。



5 観光交流

- (1) 各地域の魅力を強化し、賑わいの創出をはかります。
 - 修善寺**
 - ・駐車場整備と、交通のスムーズ化をすすめます。
 - ・修善寺美術館の開設準備に入ります。
 - 中伊豆**
 - ・「わさびの郷」としてグリーンツーリズムを推進していきます。
 - 湯ヶ島**
 - ・「文学の里」づくりを推進します。
 - 土肥**
 - ・「恋人海岸」としてのまちづくりを推進します。
- (2) 外国からの観光客誘致を推進します。
- (3) 魅力(三力)プロジェクトを遂行します。



6 次世代育成

- (1) 安全な子ども公園を整備し、夜間・休日保育を充実します。
- (2) 小中学校の適正規模をめざし、より良い教育環境をつくります。
- (3) 伊豆総合高校、土肥高校の、大学及び地域との連携を強化します。

